

航空学生入隊式

4月5日(日)9時30分から海上自衛隊小月基地の体育館において第78期航空学生の入隊式が盛大に挙行政され、宇部支部から4名が参加しました。前夜が大荒れの天気のため入隊式の開催が心配されましたが、この日は朝から快晴。桜花爛漫の中、多数の方々若人の船出を祝福しました。

今年の入隊者は新入隊員36名、現職隊員19名、海上保安庁職員3名の合計58名(昨年比9名減)。会場は防衛大臣政務官 吉田真次氏、衆参の国会議員、下関市長代理等の来賓をはじめ、海上幕僚長 齋藤聡海将、陸海空の近隣部隊長等のご臨席の下、一般の来賓のほか入隊者のご家族等が参加しました。

入隊式では自衛官任命、サービスの宣誓等の後、執行者の小月教育航空群司令 井上1等海佐が「心と技を磨き、同期と一緒に励め」と要望されました。吉田政務官は今後の教育は自分自身との闘いとした上で、①規律と安全を意識すること、②人を大切にすること、③仲間と共に望むこと、の3点を要望されました。齋藤海幕長は、①初心を忘れず誠実に取り組み、②同期生の絆を育め、の2点を要望されたほか、50年前に入隊した第28期生に加え、5年前にコロナ禍で参加が叶わなかった第23期生を招待され、現職当時の厳しい訓練環境等を紹介し過去の御労苦を労った。また、江島潔参議院議員は我が国を取り巻く安全保障環境が依然として厳しい現状を踏まえ、陸海空自衛隊を「三軍」と呼称して激励した。

その後、場所を格納庫前のエプロンに移し、航空学生の観閲式・観閲行進、全国の海自航空部隊による祝賀飛行、ホワイトアローズによる展示飛行、先輩航空学生によるドリル展示が行われた。来場者は凛々しい姿の観閲行進や多種多様な航空機による祝賀飛行に感動するとともに、一糸乱れぬドリル展示等のアトラクションに魅了された。12時45分からは屋内訓練場において、立食形式による祝賀昼食会が和やかな雰囲気の中で行われた。

